

熱学・統計力学要論(田中担当クラス) 宿題 10

提出期限: 8/3 の授業時に集める.

学籍番号: _____

氏名: _____

1. Γ 関数を $\Gamma(x) = \int_0^\infty t^{x-1} e^{-t} dt$ ($x > 0$) で定義する. 以下の関係を示せ.

$$\Gamma(1) = 1, \quad \Gamma(1/2) = \sqrt{\pi}, \quad \Gamma(x+1) = x\Gamma(x), \quad \Gamma(n+1) = n! \quad (n = \text{正の整数}).$$

2. 半径 a の n 次元球の体積 $V_n(a) = \int_{x_1^2+x_2^2+\dots+x_n^2 \leq a^2} dx_1 dx_2 \cdots dx_n$ を求めよう.

(a) 変数変換により, $V_n(a) = C_n a^n$ と書けることを示せ. ここで, $C_n \equiv V_n(1)$ は定数である.

(b) 半径 a の n 次元球の表面積は,

$$\lim_{\delta a \rightarrow 0} \frac{V_n(a + \delta a) - V_n(a)}{\delta a} = \frac{d}{da} V_n(a) = n C_n a^{n-1}$$

である. 積分 $I_n \equiv \int dx_1 dx_2 \cdots dx_n e^{-(x_1^2+x_2^2+\dots+x_n^2)}$ (積分範囲は全空間) を (n 次元) 球座標で評価すると $I_n = C_n \Gamma((n/2) + 1)$ となることを示せ.

(c) I_n を (n 次元) デカルト座標で評価せよ. (ヒント: ガウス積分の公式を用いる.)

(d) 上の結果から, C_n を決定せよ.

3. スターリングの公式, $\log n! = n \log n - n + o(n)$ ($n \gg 1$) を導出しよう.

(a) 次の不等式が成り立つことを示せ.

$$\int_{k-1}^k \log x dx \leq \log k \leq \int_k^{k+1} \log x dx, \quad k \geq 1$$

(b) この不等式の $k = 1$ から $k = n$ までの和を考え, 積分を実行することで, スターリングの公式を導け.

解答